

阿部石材店が施工致しました「川崎港物故者顕彰碑」に関する記事が日本石材工業新聞に掲載されました。

川崎港建設の物故者顕彰碑

阿部石材店が建設した川崎市・阿部市長ら参列し、除幕式を挙げる

神奈川県・川崎港は、今や我が国でも有数の商工業を併せ持った国際貿易港である。しかしその建設に当たっては、過去55年の間に関係者86名が亡くなっている。その物故者を供養するための顕彰碑が、この度、川崎区東扇島の川崎マリエン（マリエン）とエントランスの合成語「広島の森」に建立された。そして7月20日、阿部孝夫川崎市長をはじめ、矢沢博孝市議会議員、長澤明彦商大協議所会頭ら、関係者約二百名が参列し、除幕式が盛大に行われた。



マリエンタワー



船の帆をイメージ



さざ波をイメージ、カモメが飛んでいる

顕彰碑は、川崎マリエン広場の入口から奥に回ると入った右側に建てられた。石は河北山崎という濃いグレー系、艶はよく、材質的には変色や変質もなさそう。黒っぽく荘厳な感じは、碑石に適していると言えよう。

この碑石は広場の一角、縦横4.5平方メートルから60センチ盛り土し、周囲を核白みかげで囲った場所の中央部に建てられた。外柵の上面は、さざ波をイメージした形に加工してあり、側面にはカモメが飛んでいる姿が彫られている。



物故者全員の芳名録を確認

これら総合的なデザインは、過日、数社参加のコンペがあり、見事、阿部石材店の作品が選ばれた。創業84年の歴史を持ち、神奈川県内でも指折りの同社、墓石のデザインを含めて、専属のデザイナーを抱えているので、この手の新規設計はお手のもだった。除幕の式典では、物故者全員の芳名録が納められた後、参列者が白いカーネーションを献花して、殉職者建設功労者の冥福を祈った。その後、全員案内ホールに移り、市長らの祝辞があり、碑石建設功労者として阿部石材店・阿部勝社長

に感謝状が授与された。乾杯後の立食パーティで阿部勝社長はこの度の担当責任者である阿部徹・本部長を連れて、列席の方々に紹介して回っていた。

川崎マリエンには東京湾が一望出来るタワーがあり、巨大鯨の刺製が飾つてある部屋もある。今後、遊覧客が顕彰碑に手を合わせられる光景が見られるようになるのかも。



川崎港物故者顕彰之碑



感謝状を受け取る阿部勝社長

◆阿部石材店
〒210-0846 川崎
市川崎区小田2-15-2
TEL 044-333-1414
044-344-0435